

白川わくわくランド ニュース

第9号

発行
 ●白川流域住民交流センター
 (白川わくわくランド)
 〒860-0854
 熊本市東区銅町8-55
 TEL・FAX(096)346-5454
 ホームページアドレス
<http://www.wakwaku-land.com>
 メールアドレス
wakwaku@wakwaku-land.com

4年社会科「みんなのくらしをまもる」・総合的な学習など 「6.26水害」の教訓を教材に

記録映像・写真などで学習



当時の子供橋の様子を聞く(黒髪小 4年生)

昭和二十八年六月二十六日、北部九州地方をおそった西日本水害。筑後川・矢部川などとともに白川もその流域や熊本市内に未曾有の大被害をもたらした。通称「六・二六水害」と呼ばれるこの災害も、五十年を経て忘れ去られたり、そんな過去の出来事を知らなかったりする若い世代も増えている。

そのようななか、四年生社会科単元「みんなのくらしをまもる」(中学校の道徳教科(社会科)、総合的な学習)などでこの身近におこった災害を教材に学習することで、私たちが自分の生活をどのように守り、また、社会からどのように守られているかを学んでいく取り組みが白川わくわくランドを教材にならねばならぬ。白川は、阿蘇のカルデラ内に降った雨の影

6.26水害関係資料

- ビデオ「6.26白川大水害」
- ビデオ「白川大水害・語り継ぐ6・26」
- ビデオ「白川大水害から50年」
- ビデオ「6.26語り部トーク」
- 図書「濁流の中から」(体験記録)
- 図書「6.26 白川水害50年」
- 冊子「6.26水害と熊本」
(小中学校児童生徒の記録)
- 写真集「S28.6.26白川大水害の記録」
- 展示写真

ご利用の方は連絡ください。
(096-346-5454 白川わくわくランド)

響(流域の八割)を受けやすいこと、また、阿蘇の火山灰(ヨナ)を含んでいること、下流は天井川の極を呈していることなど、他の九州の河川と違う特徴をもっている。地元地域の素材を教材化し、机上の学習に留まらず現地学習などとする中で学習が深まると思われる。黒髪小学校四年生は、社会科 単元「みんなのくらしをまもる」の学習の一部にわくわくランドを利用。学習のまとめには「家庭学習報告」として、家族との話し合い、学習の報告なども入れ、親子で学びを深めあがみつくりあげていくのである。

学習を終えて

6.26水害のことは、初めて知りました。私が一番心に残ったのはビデオです。そのビデオには、6.26水害の映像、助けを求めた人たちなど当時そのままの映像が残っていました。ふだんは、私たちの身近な川がこんなかわい水害をおこすんだなと思いました。だから、川は悪いところばかりではありません。生き物の命といていいくらい大切なものです。(後略)

黒髪小学校 4年

自分の身近な、水、について、いっぱい考えたね。私たちの生活に水は必要で、とても大切なものだよね。でも、雨(や水)や地震など自然にはとても強いパワーを持つていることが、お母さんともよくわかりました。(中略)このお勉強したこと忘れずに社会や生活に生かせる人になつてくたやう。



母より

白川の橋 — ⑥ 蓮台寺橋

白川河口から6番目の橋。長さ192.7m。右岸、蓮台寺町と左岸平田町を結ぶ。昭和52年に完成。現在、橋周辺の右岸の護岸工事が行われている。

小碓水辺公園に、今、新しい風!

公園内の清掃活動をする九州東海大学の学生さんと町内の有志の方



平成九年から地元住民の方々の勉強会が契機になり出来上がった小碓水辺公園。開園から二年が過ぎた今、この活用に新しい風が吹き始めました。

小碓水辺公園のすぐ近くにある九州東海大学熊本キャンパスでは、小碓水辺公園を中心とした白川左岸のよりよい川づくりと、地元住民の方々の環境学習をとおした地域交流を行うための学生サークル「白川エコロジカルネットワーク」が結成されました。

地元西原2町内の井戸博美会長をはじめとした有志の方々が、昨年1年間小碓水辺公園の清掃などの維持管理をされてこられました。これからは地元の有志の方々と九州東海大学のサークルを中心とした大学生との協働作業により小碓水辺公園を維持管理していくとともに、川遊びやカヌーをおとした環境学習などにより活用していくため、白川を管理する国土交通省とは早稲協定を、熊本市とは美化協定を、今年8月頃に締結するため準備を進めています。

立野ダム計画

長陽村に建設中です!

白川には、なぜダムが必要なの?



今から50年前の昭和28年6月26日に、大雨が降り白川はあふれて422人の命をうばった大水害がおこりました。
2度とこのような水害が発生しないように、川幅を広げるなどの河川工事と上流で洪水をカットする「立野ダム」の建設が進められています。

どんなの?



流される直前の旧牛橋



現在のようす

ダムが完成すると



未来のようす

ダムの上流側(晴れている時)



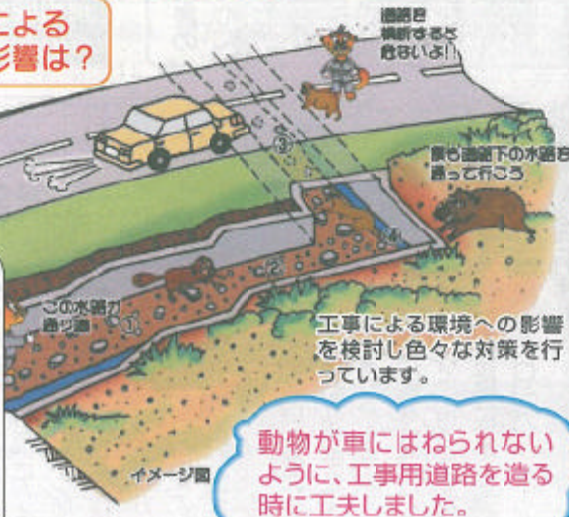
※ゲート: 水を流す量を調節するために設置する鋼鉄製の扉



立野ダムには、水を流すための穴「洪水吐き(こうすいばき)」が3つあります。ゲートはありません。普段は、ダムの上流には水をためず、大雨の時に役に立つ「洪水調節専用(こうすいちょうせつせんよう)ダム」です。



ダム建設による環境への影響は?



動物が車にはねられないように、工事用道路を造る時に工夫しました。

水路に、けもの道を造りました



環境調査もやっています



立野ダム関係資料

- 立野ダム立体模型
- ビデオ「僕とおじいちゃんの立野ダム通信」
- 事業概要立野ダム(パンフレット)
- みんなあんしん立野ダム(パンフレット)

夏休み 白川わくわくランド イベント案内

★夏の白川リバースクール★

～川に学ぼう。自然に帰ろう。
君は川の達人になれるか！～

①入門コース
8月31日(日)

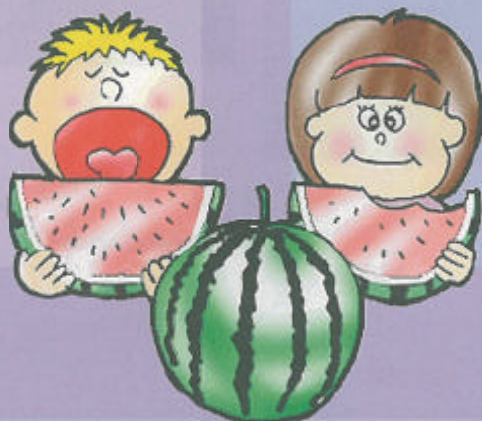
②チャレンジコース
8月6日(水)・8月19日(火)

時間
11:00～16:00

参加定員
40名

参加費
1,000円(中学生まで)
1,500円(高校生以上)

主催 NPO法人
白川わんぱく探検隊



お問い合わせ・お申込み先

白川わくわくランド
TEL・FAX 096-346-5454

ホームページアドレス
<http://www.wakuwaku-land.com>
メールアドレス
wakuwaku@wakuwaku-land.com

2003 子どもリバーキャンプ in白川

～川を知り自然と安全を学ぼう！
君は川のリーダーになれるか！～

日時

平成15年9月6日(土)～9月7日(日)

募集対象

小学校4年生～高校生まで

参加定員
2,500円/人(2日間)

参加定員
30名

主催 NPO法人
白川わんぱく探検隊



夏の星座 観察会

大きな火星を見てみよう!

日時
平成15年8月23日(土)
18:30～20:30

募集人数
50名(年齢制限なし)

参加費
100円(保険代)

*パソコンを使って、立体映像の
火星のお話の後、火星の観察。

主催 白川流域住民交流センター
利活用懇談会

今年の夏、地球に大接近する
火星の大きさを
君の目で確かめよう!!



夏休み 自由研究相談室

夏休みの自由研究のヒント
が盛りだくさん!
熊大生による実験もあるよ。



日時
平成15年
8月23日(土)～24日(日)

時間
10:00～16:00

募集人数
希望者全員

参加費
無料

主催 白川流域住民交流センター
利活用懇談会

白川の歴史、
水生生物調査、
水質検査、科学実験、
植物採取など...

